

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年 3月31日

（あて先）松本市長 様

（申請者） 中央地区町会連合会

1 交付決定額

I	金 550,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：中央地区福祉互助会事業					
実 施 主 体		中央地区町会連合会 中央地区福祉互助会			
実施日（期間）		令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所		中央地区一円			
事 業 概 要		中央地区の独自事業として行う、地域住民による相互の支え合いの仕組み「中央地区福祉互助会」、生活支援を行う「かかわり隊事業」、高齢者への買い物支援を継続的に運用するもの。 【生活支援の内容】 ・ゴミ出し、仕分け ・草取り枝払い ・宅内片付けなど 【買い物支援の内容】 ・ようこく朝市、城南朝市の開催			
地域づくりの 成果・効果		困っている人、支援を必要としている人と、何かできればと思っている人、何とかしてあげたいと思っている人をつなげる仕組みの運営を通して、公的制度では対応できないサービスを提供し、中央地区の町会福祉を推進することができた。 また、情報を一元的に管理して町会を超えた助け合いの制度運営を行うことで、中央地区をあげて見守り安心のネットワークづくり、地域包括ケアシステムの生活支援機能を担うことができた。（令和7年度実績 131件） 高齢者への買い物支援は、朝市の開催を通して気軽に話ができるお茶飲み処を設置し、コミュニケーションを図った。生産者・観光客・地元住民等の多様な人の交流を深める場となっている。			
課 題		福祉互助会の活動は、地域の見守りにもつながるため、利用者と協力者の双方の拡充を図っていきたい。			
決 算 額		財 源 内 訳			
		a + b + c	a	b	c
		270,068円	150,000円	0円	120,068円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：中央地区 災害時要援護者優先避難所備蓄品整備事業				
実 施 主 体	中央地区町会連合会 中央地区防災部 大手公民館災害時要援護者避難所運営委員会			
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	大手公民館他			
事 業 概 要	大規模災害時、災害時要援護者優先避難所の設置の際に必要な備蓄品を購入し、避難者に対して提供できる体制を地区として整えるもの。 また、避難所運営委員会での学習事業を通して、現状の課題を整理しマニュアル等の見直しを図る。			
地域づくりの成果・効果	大手公民館が市地域防災計画上「要援護者優先避難所」として位置付けられており、地区住民による「避難所運営委員会」を設置・運営した。（隔月開催） 今年度は賞味期限切れの備蓄食料の買い替えと、段ボールベッドより設置が簡単で、コンパクトに収納できる簡易ベッドを購入した。			
課 題	避難所の取組みが一部の役員にしか知られていない現状がある。地区内への周知が課題。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	102,972円	100,000円	0円	2,972円

③ 事業名：中央地区 縁日（夏祭り）				
実 施 主 体	中央地区夏祭り実行委員会 中央地区町会連合会			
実施日（期間）	令和7年8月8日			
実 施 場 所	榊形跡ひろば 他			
事 業 概 要	主に小学生を対象に地区内で縁日を開催。イベントとして青山様ぼんぼん、屋台、花火を行い、子どもから大人まで楽しめるお祭りとする。			
地域づくりの成果・効果	当日は、実行委員会を含め約70名の学生及び住民有志が集まり、協力して祭りを運営し世代間交流の促進につながった。来場者も多く、住民・学生（小・中・高・大学生）・子どもたちの交流の場が生まれた。 中・高校生のボランティアは、企画・準備から当日の運営まで主体的に関わり、特に高校生については、その後の地域活動への参加にもつながるなど、若者が地域に関わるきっかけづくりとなっている。			
課 題	子ども達の主体的な参加は進んでいるが、保護者世代の関わりが限定的であるため、親子で参加しやすい仕組みづくりや関わる機会の創出が課題			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	428,396円	150,000円	0円	278,396円

④ 事業名：中央地区 餅つき大会・門松づくり				
実 施 主 体	中央地区町会連合会			
実施日（期間）	門松づくり：令和7年12月24日 餅つき大会：12月25日			
実 施 場 所	大手公民館			
事 業 概 要	日本の伝統行事を、中央地区住民が中心となって企画。 地域の企業やこども会、福祉団体等も参加し、一緒に伝統行事を行うことで交流を図り、技術を伝承する機会とするもの。			

地域づくりの 成果・効果	餅つき大会には、役員を含め総勢１５０名が参加。餅をつく体験と、出来たての餅を味わう機会を再開したことで、参加者の満足度が高まり、世代を超えた交流が図られた。門松づくりは、伝統的な技術を次世代へ伝えるとともに、参加者同士の教え合いを通じて継承意識を醸成する機会となった。			
課 題	餅をつく際の「返し手」ができる人が限られていたことから、今後は安全に配慮しつつ、作業を担える人材の育成を進めていく必要がある。 門松づくりも、継続的な実施に向けた担い手の確保・育成が課題。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	５７，９１４円	５０，０００円	０円	７，９１４円

決 算 額（計） （①+②+③+④）	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	８５９，３５０円	４５０，０００円	０円	４０９，３５０円

A：各事業のaの合計額
 B：各事業のbの合計額
 C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：中央地区災害対策基金　資金積立事業					
積立目的	地震や洪水、大雪などの大規模災害時における必要物資の購入や除雪費用を速やかに調達するための資金を確保するとともに、災害時の住民の安心を確保することを目的として行うもの。				
積立期間	令和６年度から　令和１０年度まで　（本年度　２年目）				
積立ての 目標金額	５００，０００円				
積立実績	区分		積立額	積立事業への 積立金充当額	差引累計
	前年度 までの 積立経過	１年目	１００，０００円	０円	１００，０００円
		２年目	円	円	０円
		３年目	円	円	０円
		４年目	円	円	０円
		５年目	円	円	０円
	本年度の積立実績		D １００，０００円	E ０円	F ２００，０００円
	合 計 額		２００，０００円	円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実 施 主 体					
実施日（期間）					
実 施 場 所					
事 業 概 要					
地域づくりの 成果・効果					
決 算 額	E + G		財 源 内 訳		
			E	G	

		円	円	0円
充当後の積立事業取扱方針				
積立継続（令和10年度まで） 廃止				
廃止する場合は、積立金残高（F）の処理方法				

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I－A－D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額＝I×2／10